# 時事問題講座Ⅰ

科目ナンバリング　CAE-310
選択　　2単位

増渕　達夫

1. 授業の概要（ねらい）

選挙権年齢や成年年齢の引き下げなど、若者が主体的に社会に参画することが強く求められている。こうした中、この授業では、時事問題について、政治、経済、文化、倫理などの観点から考察し、理解を深め、主体的に判断し、様々な人々と協働して課題を解決する基礎を育成する。

2. 授業の到達目標

○　政治、経済、文化、倫理などの基本的な概念等について理解できる。
○　時事問題について、様々な情報を活用し、公正に判断できる。
○　社会の在り方や自らの生き方等について探究し、適切に表現できる。

3. 成績評価の方法および基準

○　出席及び毎授業における課題（40%）
○　レポート（30%）
○　試験（30%）

4. 教科書・参考文献

教科書
テキストは使用しない。
参考文献
参考となる文献や資料は、適宜指示する。

5. 準備学修の内容

○　講義資料は、事前にLMSに掲載するので、プリントアウト等により内容を把握しておくこと。
○　毎回、事前学修及び事後学修の課題を提示するので、誠意をもって取り組むこと。
○　新聞記事を指定することがあるので、大学図書館や公共図書館等も活用して、自分自身で指定された記事を探し、確実に読み込むこと。
○　時事問題について理解するだけにとどまらず、解決するために何をすべきかを考え、自分の見解を根拠をもってまとめ、文章で表現できるようにすること

6. その他履修上の注意事項

○　名簿確定段階で座席を指定する。
○　受講者の主体的かつ積極的な参加が不可欠である。
○　新聞やテレビのニュースなどを意識的に見ておくこと。
○　次に示す「7　各回の授業内容」は、状況に応じて変更する可能性がある。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション（LMSによるオンデマンド形式）
○　授業の進め方、留意事項等
主権者としての責任と義務について
○　国民主権についての考察

【第2回】　基本的人権の尊重について（1）
○　日本国憲法が保障する基本的人権の内容等の理解
○　現代社会が直面している人権上の課題の考察

【第3回】　基本的人権の尊重について（2）
○　現代社会が直面している人権上の課題の考察
○　人権保障のために取り組むべきことの考察

【第4回】　天皇の地位と役割について
○　日本国憲法や皇室典範などにおける規定の理解
○　天皇の役割等に関する考察

【第5回】　国会について
○　日本国憲法や国会法などにおける規定の理解
○　第204回国会における主な議論に関する考察

【第6回】　内閣について
○　日本国憲法や内閣法などにおける規定の理解
○　現在の内閣が取り組むべき課題と対応に関する考察

【第7回】　司法制度について
○　日本国憲法や裁判所法などにおける規定の理解
○　司法制度改革の背景、成果と課題などに関する考察

【第8回】　地方自治について
○　日本国憲法や地方自治法などにおける規定の理解
○　地方公共団体の首長や議員の選挙における争点などに関する考察

【第9回】　企業の役割について
○　会社法などにおける規定の理解
○　企業の社会的役割などに関する考察

【第10回】　政府の役割と財政・租税について
○　令和3年度における我が国の歳入及び歳出の概要に関する理解
○　予算案審議における主な論点と今後の財政上の課題に関する考察

【第11回】　金融の仕組みと働きについて
○　金融の役割や意義に関する理解
○　金利や為替の動向と経済生活への影響などに関する考察

【第12回】　経済成長や景気変動と国民生活の向上について
○　政府の月例経済報告等に関する理解
○　景気の動向と国民生活への具体的な影響に関する考察

【第13回】　我が国の安全保障と防衛について
○　我が国の主権と領土に関する理解
○　現行憲法下での国際貢献の在り方に関する考察

【第14回】　持続可能な社会の形成について（LMSによるオンデマンド形式）
○　我が国が直面する課題と主権者としての関与に関する考察

【第15回】　試験とまとめ